

仕 様 書

1. 件名

燃料電池分野の技術開発ロードマップ改訂に関する調査

2. 目的

燃料電池技術は省エネルギー、環境負荷低減、エネルギー多様化、新規産業創出等に資する水素エネルギー利用社会を構築するための中核となる技術であり、地球温暖化問題の深刻化等によりその重要性が増している。2008年3月5日に策定された「Cool Earth-エネルギー革新技术計画」において当該技術が重要技術に選定される等、政策的なプライオリティも極めて高い技術である。

NEDOにおいては、燃料電池技術、及び関連する水素技術に係る技術開発や実証研究等を推進しているところであるが、それらをより戦略的・効果的に推進するために「技術開発ロードマップ」を策定している。当該ロードマップの活用し、また、ステークホルダー（利害関係者）に公開することにより、戦略的なプロジェクト立案や実施体制の構築、実際のプロジェクトの効率的・効果的な推進を行っている。

本調査では、「燃料電池・水素技術開発ロードマップ 2008」を改訂（本調査では燃料電池分野のみ）することを目的に、最新の技術動向を調査し、その結果をマップに反映させる。さらに、燃料電池技術のコスト分析、及びそれを踏まえた要素技術開発のプライオリティ付けを行い、当該結果もマップに反映することにより、2015年の燃料電池自動車の一般普及に向けた戦略的な技術開発の推進に資する。

3. 調査内容

「燃料電池・水素技術開発ロードマップ 2008」を改訂（本調査では燃料電池分野のみ）することを目的に、以下の調査等を実施する。

- ・技術動向調査
- ・技術コスト分析
- ・コスト分析を踏まえた技術戦略策定、要素技術のプライオリティ付け
- ・上記検討を踏まえた技術マップ（案）の策定
- ・有識者による審議（ワーキンググループ等の開催）、意見取りまとめ、マップへの反映・策定

※ワーキンググループ等のメンバー構成等はNEDOと協議して決定すること。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から平成22年3月22日まで

5. 予算

1,500万円以内

6. 報告書

提出日時 調査契約期間内に提出のこと

提出方式 電子媒体CD-R（PDFファイル形式）

提出部数 1部

7. 報告会等の開催

委託期間中あるいは委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。